

地域の和イ輪イ通信 ～町会・自治会活動紹介～

問合せ先 市民協働課

長滝地区第8回防災訓練 ～災害時に何をしたらいいの～

長滝地区では、もし災害が発生したら、東ノ番・中ノ番・西ノ番・長滝住宅・郷田の5町が連携して、災害対応を行うこととしております。今回は各町会長をリーダーとし、民生委員児童委員・福祉委員・青年団・子供会・消防団・祭り関係団体などの各種団体で構成する自主防災組織図を見直すところから始めました。昨年11月1日の訓練当日は、それらの各種団体から総勢100人に参加いただきました。



▲会長挨拶

今回の訓練は、実際に自主防災組織として、災害時に何をしたらいいのかを考えることにポイントを置き企画しました。まず、地図で地域の状況を確認し、その後、市役所職員から長滝地区で大規模地震が発生した場合の被害想定の説明を受けました。



▲地図で地域の状況を確認

その被害想定では、多くの家屋が倒壊し下敷きになった人が救助を求め、一部では火災も発生し、電気・通信・水道などが使えなくなるというものであり、そんな中で、まず自分は何をすべきか、また自主防災組織として何ができるのだろうかということ、一人ひとり考え、その後、各班の中で意見交換し、最後には各班で話し合った内容を発表するというかたちで、訓練を行いました。参加者は、慣れない訓練形式で困惑しているところもありましたが、各班の最後の発表を聞いていると、災害時の活動が少しイメージできたかなと思います。



▲災害時対応の話し合い

当日は沢山のみなさんに参加いただき感謝するとともに、真剣に取り組んでいただいている様子を拝見すると心強く感じました。



▲班で話し合ったことを発表

市民公益活動団体紹介

一般社団法人らふ

問合せ先 市民協働課

主にがん患者への情報支援を目的に、「病」になっても、「介護」が必要になっても、必要な時に、必要な人に、必要な情報を届け、共に考え、寄り添い、最期までその人らしく生きるために困らない地域を作りたいと設立しました。乳がん患者会代表を務め、患者サポート経験を持つ乳がん体験者、5年間の相談実績を持つ看護師、家族会のサポートや介護者支援を主とする介護アドバイザーが理事となり、代表自宅マンスションを開放し、主としてがん患者への生活サポートや相談、また患者同士の茶話会や交流する場を提供。また、どなたでも参加できるイベントの開催や、市民や医療、介護に携わる専門職が交流し、自分らしく生きることを共に学べる場を提供し、情報発信をしています。

【会員数】 患者、家族、医療者、専門職による一般個人・法人会員、賛助会員合計108人

【主な活動】

- がん患者対象の少人数の各種「茶話会」の実施（若年性乳がん、再発患者対象など）
- 看護師 南 孝美による「ナースみなみさんの相談日」実施
- がん患者の生活に必要なウィッグ（かつら）や下着などの相談、試着などの場の提供
- フラワーアレンジメントや様々な講習会の実施
- 市民対象の様々なセミナー、市民講座の開催
- 専門職の交流の場の提供
- 看護学部学生の実習受入
- がん患者や介護者への情報支援 など
- いづれの参加も、実費と別にサロン利用料（飲物、菓子、光熱費代として5000円）が必要。継続して茶話会、講習会などへ参加される場合は、会員登録（有料）をお願いいたします。ぜひ一度、サロンの見学にお越しください。
- 申込・問合せ 一般社団法人らふ（下瓦屋3丁目15番9-1706号） ☎ Fax 468-8030 e-mail: info@laugh-sensyu.org
- 詳しくはホームページ（<http://laugh-sensyu.org/>）をご覧ください。

